



「世界一赤白帽の似合う子ども」海田東小学校の児童は体を動かすことが大好きで赤白帽をかぶって元気よく外で遊びます。皆勤賞を目指す子どももたくさんいます。

また、「広島県『学びの変革パイロット校』」として、今年も「主体的な学びのある授業づくり」に取り組んでいます。各学年の日々の取組を紹介します。

「1年生・生活科」 「ぼく・わたしのアサガオさん」

「アサガオかんむり」をかぶるとあら不思議。アサガオとお話ができるのです。アサガオと対話をしながら共に成長していることに気付くことができました。



「2年生・生活科」 「ドキドキわくわくまちたんけん」

「ユキ園」の人々との出会いを通して、人と関わることの楽しさに気付きました。相手の立場に立つて、自分たちでできることについて考え実行する学習を行いました。



「3年生・体育科」 「タグラグビー」

「タグラグビー」は、タックルの代わりに腰に付けた紐を取り合うゲームです。チームで作戦を立て、協力することで「タグラグビー」でトライする楽しさを実感することができました。



「4年生・総合的な学習の時間」 「みんな大好き海田の自然」

「海田のヒマワリ屋さん」の協力を得ながら、海田町の花「ヒマワリ」を多くの人に知ってもらう活動に取り組みました。自



分たちで育てた「ヒマワリの花」を町民センターや海田東公民館、じらく房で楽しんでもらいました。

「5年生・家庭科」 「だしの名人になろう」

家庭科では、伝統的な食文化である「みそ汁」について学んでいます。「みそ汁」で重要な役割を果たしている「だし」について体験を通じた学習を行いました。



「6年生・総合的な学習の時間」 「海田東小未来をえがく」

国語で効果的な表現方法を学び「かいた七タさん」の宣伝文を書き、チラシで配布をしました。「かいた七タさん」では、町の人へのインタビューやごみ回収のボランティア活動を行いました。二学期には「海田東小サミット」を通して海田町の人々の願いや、取り組みを学び、自分たちにもできることについて考えます。

